

和し 鍛え 学ぶ

3月5日 雨 最後の練習 最後の給食 最後の学級活動 最後の…

明日はいよいよ卒業式です。令和2年3月の卒業式から、コロナ禍のために、在校生が参加しない形の卒業式が続いていました。全校生徒がそろって行う卒業式は、なんと、令和元年3月（実際は、まだ令和になっていない平成31年3月）の卒業式以来です。その間、5年も経過していたかと思うと、改めてこの数年間に起きていた出来事の大変さが思い起こされます。

中学校の卒業式は、学校の行事の中で、最も大切なものです。義務教育最後の節目だから、ということは言うまでもないですが、生徒の皆さんのが成長を考えた時に、卒業式、そして、それに向けて過ごす時間は、とても尊いものであると考えています。

卒業生は、先輩としての姿を後輩に示し、自分たちのあとを後輩に託して母校を去っていきます。在校生は、卒業していく先輩の背中を目撃付け、託されたバトンをしっかりと心で受け取ります。儀式という厳かな形を取りつつ、その中には卒業生と在校生の心の交流があり、卒業生も在校生もどちらも心が育つ、大切な教育活動の一つだと私は考えています。

在校生の皆さん、今まで、部活動や学校行事などでお世話になった先輩たちが、明日いよいよ卒業します。「静寂の美」今まで大切にしてきたことや『変わらないもの』の歌声で、卒業していく先輩たちへの思いをしっかりと伝え、大切な式を支え、背中を押してあげてください。

卒業生の皆さん、明日の今頃は、もう卒業式が終わっていますね。自分のことは後回しで、いつも皆さんのことを考えてくれていた先生たちに、返事や歌声で感謝の気持ちを伝えられるといいでですね。後輩やお家の方、先生たち。いろんな人たちに支えられて、今日までの中学校生活があります。何より、皆さん自身が「この仲間と過ごせてよかった」「末中で良かった」という思いで卒業していく、そんな卒業式になるといいですね。

